

# 特別研修

## 特別研修（共同）

研修名	人づくりセミナー	講師	未定	
		期間	1日間	
		会場	自治人材開発センター	
		予定人員	県300人・市町村600人	
ねらい	地方分権の担い手である職員一人ひとりが、幅広い視野と柔軟な発想を身に付け、より創造的かつ積極的に地方行政を展開できる人材となることを目指します。			
対象者	講義内容による			
実施日	未定			
手法	オンライン研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日	未定			幅広い分野から有識者を招き、講演会形式にて実施する予定です。
	<p>(参考) 令和3年度開催実績</p> <p>第1回 青野 慶久 (サイボウズ株式会社 代表取締役社長) 「コロナ禍を契機としたニューノーマルな働き方」</p> <p>第2回 若新 雄純 (プロデューサー) 「ゆるいコミュニケーションと非線形なまちづくり ～コロナ禍から考える「まち」という新しい何か～」</p>			
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO. 301～302）</li> <li>・ 全2回実施予定</li> </ul>			

## 特別研修（共同）

研修名	行政不服申立	受講生の声	
		具体例や講師が体験した事案を通じての解説が興味深く、また、分かりやすかったです。一般的な内容にとどまらず、実務ではどうすべきかという点にまで踏み込んだ説明があり、参考になりました。	
講師	弁護士 立命館大学法学部 教授 田中 良弘	期 間	各所属・各団体で指定する期間
		会 場	各所属・各団体で指定する場所
		予 定 人 員	県20人・市町村20人
ねらい	行政不服審査法による不服申立ての仕組みと手続きの流れを学ぶとともに、個別的課題の処理について実務的な処理能力を養います。		
対象者	【県】職務に関係のある職員 【市町村】構成団体の長から推薦された職員		
実施日	各所属・各団体で指定する日		
手法	動画研修		
学 習 計 画			
カリキュラム	動画時間数		内 容
	時	分	
行政法概論	6	00	・行政行為の種類、行政処分の効力
行政救済制度			・行政不服審査と行政事件訴訟の異同
行政不服審査制度の仕組み			・制度趣旨と法改正、不服申立ての要件
審査請求手続の流れ			・審査請求手続の流れ
審理員による審理手続			・審理手続の流れ
行政不服審査会			・審査会の性質、審査審議手続
裁決			・裁決の時期、種類、方式
再調査の請求			・再調査の請求ができる場合
再審査請求			・再審査請求と裁決
備 考	・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO. 303）		

## 特別研修（共同）

研修名	人事院公務員研修所との 共同研修B		講師	未定
			期間	未定
			会場	人事院公務員研修所（入間市）ほか
			予定人員	県1人・市町村1人
ねらい	埼玉県の主幹級職員・県内市町村の課長補佐級職員と国家公務員（総合職）の課長補佐級職員が、与えられたテーマについて異なる立場から発表・討議を行うことで、大局的な視野の習得とともに、人脈の拡大を目指します。			
対象者	【県】任命権者から推薦された主幹級職員 【市町村】構成団体の長から推薦された課長補佐級職員			
実施日	未定			
手法	未定			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
	未定			<p>人事院公務員研修所で行われている行政研修（課長補佐級）に県職員及び市町村職員として参加します。</p> <p>（参考）令和3年度開催実績</p> <p>令和3年11月16日（火）～19日（金）（4日間）</p> <p>※Cisco Webex Meetingsによるオンラインで実施</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.304）</li> <li>・詳細は、後日送付する実施通知により確認してください。</li> <li>・研修修了報告書があります。</li> </ul>			

## 特別研修（共同）

研修名	女性職員のための キャリアデザイン (主任級)	おすすめポイント		
		同じ立場の職員と交流しながら、自分の今までを振り返り、これからどうなっていきたいかじっくり考えることができます。また、先輩職員に質問することで、自分のキャリアへの不安解消につながります。		
講師	一般社団法人 日本経営協会 みずの じゅんこ 水野 順子 ほか	期 間	3日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	県15人・市町村15人	
ねらい	主任級女性職員が自身のキャリアを改めて考えるとともに、組織における役割について認識を深めます。また、組織で必要とされるコミュニケーション能力等を高めます。			
対象者	【県】任命権者から推薦された主任級の女性職員 【市町村】主任級の女性職員			
実施日	7月4日（月）・5日（火）・1月16日（月）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション
	アイスブレイク	6	25	・自己紹介及び研修目的と目標理解
	キャリアデザインとはなにか			・キャリアデザインの定義と必要性 ・キャリアデザインで行うこと
	社会環境の変化とこれからの働き方			・自治体職員を取り巻く環境変化、女性の雇用状況を知り、女性活躍・ダイバーシティの時代の働き方を考える ・これからの「職場」について考える
	これまでのキャリアを振り返る			・これまでのキャリアを振り返り、自身の強みと可能性を確認する ・周囲が自分に求めていることを再確認する ・今後必要とする能力・課題を認識する
	現在のキャリアを考える			・働く上で大事な価値観（キャリアアンカー） ・変化に対応するための力を養う

<p>2日 9:00 ～ 16:30</p>	<p>アイスブレイク</p> <p>仕事力の向上 コミュニケーション力とセルフ マネジメント力</p> <p>先輩職員にインタビューしてみ よう</p> <p>これからのキャリアをデザイン する</p>	<p>6</p>	<p>30</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝える力の向上</li> <li>・ワークライフバランスを高めるタイムマネジメント法</li> <li>・ストレスコントロール法</li>   <li>・先輩職員からのメッセージとインタビュー</li> <li>・質疑応答タイム：パネルディスカッション形式</li>   <li>・統合的人生設計</li> <li>・主任級職員としての役割とは</li> <li>・これからのありたい姿を考える</li> <li>・アクションプランの設定</li> </ul>
<p>3日 9:00 ～ 16:30</p>	<p>アイスブレイク</p> <p>基調講演 「これからの働き方と男性学」 (講師：大妻女子大学 准教授 田中 俊之)</p> <p>基調講演の振り返り</p> <p>先輩職員からのメッセージ（パ ネルディスカッション）</p> <p>ワールドカフェ</p> <p>まとめ</p>	<p>6</p>	<p>25</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状共有</li>   <li>「男性学」を切り口に、働き方に関する男女差 について見識を深め、これからの働き方を考える とともに、視野の拡大を図ります。</li>   <li>・基調講演の感想共有</li> <li>・女性職員の働く悩みの共有</li>   <li>・先輩職員によるパネルディスカッション</li> <li>・講師からのインタビュー</li> <li>・質疑応答</li>   <li>・アンケート結果・テーマ紹介 この半年間での悩みや課題など</li> <li>・テーマに基づいてワールドカフェ</li>   <li>・アクションプラン作成と質疑応答、まとめ</li> </ul>
	<p>講義の振り返り等</p>	<p>0</p>	<p>05</p>	<p>質疑応答、アンケート記入等</p>
<p>備 考</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.314）</li> <li>・ 事前課題があります</li> </ul>			

## 特別研修（共同）

研修名	女性職員のための キャリアデザイン (主査・主幹級)	おすすめポイント		
		主査・主幹級の女性職員が抱えがちなキャリアに関する悩みや不安について、講義や演習により軽減を図ります。また、同じ立場にある受講生同士の交流や先輩職員の経験を聞く機会を設け、キャリアアップへの意欲を高めます。		
講師	一般社団法人 日本経営協会 みずの じゅんこ 水野 順子 ほか	期 間	3日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	県15人・市町村40人	
ねらい	主査・主幹級の女性職員が組織における役割について認識を深め、組織を担うために必要なマネジメント能力を高めます。また、自らの可能性や強みを把握し、更なるキャリアアップへの意欲を高めます。			
対象者	【県】任命権者から推薦された主査・主幹級の職に昇任後1年以上経過している女性職員 【市町村】主査・係長級、主幹級の女性職員			
実施日	8月1日（月）・2日（火）・1月12日（木）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション
	アイスブレイク	6	25	・自己紹介及び研修目的と目標理解
	キャリアデザインとはなにか			・キャリアデザインの定義と必要性 ・キャリアデザインで行うこと ・後輩指導とキャリアデザインの関連性
	社会環境の変化とこれからの働き方			・自治体職員を取り巻く環境変化、女性の雇用状況を知り、女性活躍・ダイバーシティの時代の働き方を考える ・これからの「職場」について考える
	これまでのキャリアを振り返る			・これまでのキャリアを振り返り、自身の強みと可能性を確認する ・周囲が自分に求めていることの再確認 ・今後必要とする能力・課題を認識する
	現在のキャリアを考える			・働く上で大切な価値観（キャリアアンカー） ・変化に対応するための力を養う（計画的偶発性理論等）

<p>2日 9:00 ～ 16:30</p>	<p>アイスブレイク</p> <p>リーダーシップ力向上～多様性への理解と促進力を高める</p> <p>先輩職員にインタビューしてみよう</p> <p>これからのキャリアをデザインする</p>	<p>6</p>	<p>25</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様性を体感する「クロスロード」演習</li> <li>・演習の振り返り</li>   <li>・先輩職員からのメッセージとインタビュー</li> <li>・質疑応答タイム（パネルディスカッション）</li>   <li>・統合的人生設計</li> <li>・主査・主幹級職員としての役割とは</li> <li>・これからのありたい姿を考える</li> <li>・アクションプランの設定</li> </ul>
<p>3日 9:00 ～ 16:30</p>	<p>アイスブレイク</p> <p>基調講演 「これからの働き方と男性学」 （講師：大妻女子大学 准教授 田中 俊之）</p> <p>基調講演の振り返り</p> <p>先輩職員からのメッセージ（パネルディスカッション）</p> <p>ワールドカフェ</p> <p>アクションプラン作成、まとめ</p>	<p>6</p>	<p>25</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状共有</li>   <li>「男性学」を切り口に、働き方に関する男女差について見識を深め、これからの働き方をお考えとともに、視野の拡大を図ります。</li>   <li>・基調講演を聞いて</li> <li>・女性職員の働く悩み共有</li> <li>・先輩職員に聞いてみたいこと</li>   <li>・先輩職員の経験やキャリアの向き合い方を知る</li> <li>・先輩職員によるパネルディスカッション</li> <li>・質疑応答</li>   <li>・テーマに基づいてワールドカフェ</li>   <li>・アクションプラン作成、まとめ、質疑応答</li> </ul>
	<p>講義の振り返り等</p>	<p>0</p>	<p>05</p>	<p>質疑応答、アンケート記入等</p>
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.315）</li> <li>・ 事前課題があります</li> </ul>			

## 特別研修（共同）

研修名	ハードクレーム対応研修	講師	熊川次男総合法律事務所 弁護士 熊川 俊充 <small>くまかわ としみつ</small>	
		期間	各所属・各団体で指定する期間	
		会場	各所属・各団体で指定する場所	
		予定人員	県300人・市町村40人	
ねらい	ハードクレームに対する適切な対処法を習得するとともに、組織対応の重要性について学びます。			
対象者	【県】主幹・副課長級の職員（各所属につき1人、未受講者優先） 【市町村】課長補佐級以上の職員			
実施日	各所属・各団体で指定する日			
手法	動画研修			
学 習 計 画				
カリキュラム		動画時間数		内 容
		時	分	
クレーム対応の流れ		3	00	・初期段階と交渉段階の峻別
クレーム対応総論				・法的な観点から
クレームの初期段階 (相手の怒りを静める)				・お礼&お詫び ・マザリング
クレームの初期段階 (材料、証拠集め)				・相手の情報の特定方法 ・申し出の内容の特定方法
クレームの交渉段階				・具体的な交渉方法（複数対応、録音等）
通常のクレイマーと悪質クレイマー				・内容と手段で区別
悪質クレイマーへの対処方法				・交渉するという発想を捨てる ・時間を区切る ・日の当たるところに引っ張り出す
事例検討				・事例検討ではコロナ特有のクレームにも触れます。
備考	・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO. 307）			

## 特別研修（共同）

研修名	自治体DXのための AI・RPA活用研修		受講者の声	
			難しい専門概念も、図や具体例を多く紹介していただき分かりやすく、自分の業務に置き換えて考えることができました。自治体職員による事例紹介では、リアルな成功例や苦労話を聞ける良い機会となりました。	
講師	一般社団法人 行政情報システム研究所 狩野 英司 <sup>かのう えいじ</sup> ほか		期 間	2日間
			会 場	各所属・各団体で指定する場所
			予 定 人 員	県90人・市町村30人
ねらい	AI・RPAに関する知識、活用事例等を学び、業務の効率化や住民サービス向上につなげるための活用方法を身に付けます。			
対象者	AI・RPAについて関心のある職員			
実施日	① 8月26日（金）・29日（月）（県45人・市町村15人） ② 9月 9日（金）・12日（月）（県45人・市町村15人）			
手法	オンライン研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	デジタルトランスフォーメーション（DX）の基礎知識 AIの基礎知識と導入方法 RPAの基礎知識と導入方法	6	25	DX、AI・RPAとはそもそも何か、どこまで可能になっているのか、行政のどのような用途に活用できるのか、どのように活用できるのか、といった知識を分かりやすくお伝えします。
	業務改革と業務改善 業務見える化グループワーク AI・RPA動作実演			RPA導入の前提となる業務改革や業務フローの作成の基礎知識を、実習を通じて学びます。
	先行事例紹介・質疑応答① （講師：自治体職員）			RPA導入の担当者から、現場での苦労や課題解決の方法などを聞き出します。
	関連トピックス			AI活用の基となる「ユーザー中心」等を学びます。
2日 9:00 ～ 16:30	ビッグデータとAI デザイン思考とAI AIの導入パターンと事例	6	25	AI活用に不可欠となる、ビッグデータやデザイン思考の基礎知識を分かりやすく解説します。 AI主要な導入パターンと事例を解説します。
	先行事例紹介・質疑応答② （講師：自治体職員）			AI導入の担当者から、現場での苦労や課題解決の方法などを聞き出します。
	埼玉県施策・事例紹介 （講師：埼玉県職員）			埼玉県及び県内市町村でのAI・RPA活用に向けた施策と事例を解説します。
	AI活用方法企画のためのグループワーク			2日間で得た知識をもとに、AI活用のアイデアを、グループワークを通じて検討します。
	まとめ・質疑応答 講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.308～309）</li> <li>・ 全2回実施</li> <li>・ 事前課題があります。</li> </ul>			

## 特別研修（共同）

研修名	育児休業等支援研修	講師	筑波大学 公認心理師 中井 貴美子ほか
		期間	<オンライン> 1日間 <動画> 各所属・各団体に指定する期間
		会場	各所属・各団体に指定する場所
		予定人員	県60人・市町村10人
ねらい	育児休業を取得する職員等に対し、今後の新たな働き方に備えたキャリア形成の考え方やメンタルヘルス等の必要な知識・スキルの習得を通じて、円滑な職場復帰を支援します。		
対象者	次のいずれかに該当する職員 ・研修実施日以前8か月の間に育児休業から復帰した職員 ・育児休業中及び育児休業を検討している職員等		
実施日	<オンライン研修> ① 6月23日(木) (県30人・市町村5人) ② 11月24日(木) (県30人・市町村5人) <動画研修> 各所属・各団体に指定する日		
手法	オンライン研修・動画研修		
学 習 計 画			

### <オンライン研修>

日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 10:00 ～ 15:15	オリエンテーション	0	10	研修全般に関するオリエンテーション等
	先輩からのメッセージ (講師：埼玉県職員、 市町村職員)	2	00	座談会形式で育児休業を経験した先輩及び研修生同士の交換を通して、良きネットワークを作るとともに、今後のより良い働き方などについて考えます。
	メンタルヘルス (講師：筑波大学 公認心理師 中井 貴美子)	2	00	気軽に取り入れられる「セルフコントロール」のための思考法や「ストレスコントロール」の具体的方法を学ぶことで、心身を健康に保ち、物事に前向きに取り組む力を高めます。
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等

### <動画研修>

カリキュラム	動画時間数		内 容
	時	分	
キャリアデザイン (講師：東洋大学 准教授 小島 貴子)	2	00	キャリアデザインの考え方を学ぶことで、職業生活と家庭生活との両立と自己表現を目指し、主体的に行動できる能力を高めます。
子育て支援に関する制度説明 (講師：埼玉県人事課職員) ※県職員のみ対象	0	25	県人事課から仕事と子育ての両立を支援するための制度等について説明します。
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード No. 310～311）</li> <li>・全2回実施</li> <li>・事前アンケートがあります。</li> <li>・オンライン研修の実施日は託児があります（育児休業中等の職員対象）。</li> </ul>		

## 特別研修（共同）

研修名	法制執務	受講者の声		
		法制執務初心者の私にも非常に分かりやすい講義で、受動的な講義ではなく、能動的に講義を聞くことができました。法がどのような規則で成り立っていて、どのように改正すればよいか理解することができました。		
講師	第一法規（株） つむら まさのり 津村 正統	期 間	2日間	
		会 場	各所属・各団体で指定する場所	
		予 定 人 員	県10人・市町村40人	
ねらい	法制執務の初学者を対象として、基礎となる法的知識を学び、法の適正な解釈運用と法の制定や改正に必要な基本的な技法を身に付け、「法令を読む力」、「法令を改正する力」を養います。			
対象者	次のいずれかに該当する職員 ・初めて法制執務に携わる職員 ・法制執務に関心のある職員			
実施日	9月5日（月）・6日（火）			
手法	オンライン研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	法制執務について	6	25	・総説 ・立法政策 ・立法技術
	法の仕組み			・法体系 ・法形式 条例と規則、告示及び訓令
	条例・規則の立案方式			・総説 方式の根拠・種類 ・新制定の方式 公布文・条例番号・題名・前文及び制定文・目次・本則・附則・別表等 ・立案要領 総則的規定・実体的規定・雑則的規定・罰則規定
	演習			・法の読み方
2日 9:00 ～ 16:30	一部改正の方式	6	25	・総説 ・基本形式 ・公布文、条例番号及び題名 ・本則
	全部改正及び廃止の方式			
	演習			・条例の一部改正
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.312）</li> <li>・事前課題があります。</li> </ul>			

## 特別研修（共同）

研修名	防災を学ぶ	受講者の声		
		災害体験談は心に響くものがあり、色々と考えさせられました。クロスロードゲームでは様々な考え方があることを改めて意識しました。災害発生時だけでなく日常の業務においても重要なことを再認識でき、自治体職員として勉強になることが多かったです。		
講師	一般社団法人 日本経営協会 <small>なかにし ゆり</small> 中西 百合ほか	期 間	1 日間	
		会 場	埼玉県防災学習センター	
		予 定 人 員	県 60 人・市町村 10 人	
ねらい	多発する自然災害に備え、防災意識を高めるとともに自助・共助・公助の視点から必要な知識の習得を図ります。			
対象者	防災について関心のある職員			
実施日	7月5日（火）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1 日 9:50 ～ 16:20	オリエンテーション	0	10	研修全般に関するオリエンテーション等
	災害疑似体験 (講師：埼玉県防災学習センター職員)	1	00	埼玉県防災学習センターの施設を利用し、災害を疑似体験します。
	埼玉県の防災体制 (講師：埼玉県職員)	1	00	埼玉県の防災体制を確認し、自治体職員としての危機対応を学びます。
	防災シミュレーションゲーム・災害体験談 (講師：一般社団法人日本経営協会 <small>なかにし ゆり</small> 中西 百合)	3	15	防災クロスロードゲームを通じて、多様性を受容する柔軟性の養成、防災の取組に関する「ジレンマ」へ対応する瞬発力の訓練及び主体的に行動するための意識の向上を図ります。 また、市役所職員として東日本大震災を経験した講師の体験談から、災害発生時に自治体職員に求められることや必要なスキルについて確認します。
	講義の振り返り等	0	05	アンケート記入等
備 考	・ 県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO. 313）			

## 特別研修（共同）

研修名	再任用希望職員研修	講師	未定			
		期間	各所属・各団体で指定する期間			
		会場	各所属・各団体で指定する場所			
		予定人員	県200人・市町村300人			
ねらい	再任用職員として活躍するために、周囲と良好な関係を築いていくことや、自ら有する知識・経験、能力を棚卸しし、それをどう役立てるかを学びます。また、新たな目標を立てて意欲的に働く心構えを学びます。					
対象者	令和5年度に再任用を希望する職員（新規任用予定者に限る）					
実施日	（業務に必要なITスキル） 未定（10月～11月を予定）※県職員のみ対象 （再任用職員としての心構え） 未定（1月～3月を予定）					
手法	動画研修等					
学 習 計 画						
カリキュラム	学習方法		動画時間数		内 容	
	テキスト	動画	時	分		
業務に必要なITスキル ※県職員のみ対象	-	-	-	-	未定	
再任用職員としての心構え	○	○	-	-	未定	
備 考	・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.316） ・県職員と市町村職員では、受講する科目が異なります（県職員のみ対象の「業務に必要なITスキル」は10月～11月を予定）。					

## 特別研修（共同）

研修名	プライオリティ マネジメント ～優先順位の設定から方針立案へ～	おすすめポイント		
		インバスケットの手法による業務の優先順位付けから問題解決、方針立案まで、業務遂行マネジメントの具体的な方法をワークを通して習得し、迅速かつ的確に行動する力を身に付けます。		
講師	(株) インバスケット研究所 まるやま こうだい ほりえ ゆたか 丸山 広太、堀江 豊	期 間	2日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	県40人・市町村40人	
ねらい	限られた時間の中で様々な業務を遂行するに当たって、組織としての優先順位付けや問題解決、方針立案などのスキルの向上を図ります。			
対象者	業務遂行マネジメントに関心のある職員			
実施日	① 6月27日(月)・29日(水) (県20人・市町村20人) ② 11月 8日(火)・ 9日(水) (県20人・市町村20人)			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	優先順位の設定の基礎知識	6	25	・優先順位をつける必要性
	重要度と緊急度			・パレートの法則 ・緊急度・重要度の2つの軸 ・重要度を影響度に置き換える
	問題解決力の習得			・問題解決プロセス、ポイント ・意思決定力の種類・対人関係能力
	講評、質疑応答			
2日 9:00 ～ 16:30	課題設定力の習得	6	25	・問題と課題の違い ・あるべき姿の設定 ・問題を課題に変える
	方針立案力の習得			・組織の現状分析と方針を立案する ・方針立案に必要な視点や考え方を学ぶ
	まとめ・質疑応答			
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.305～306）</li> <li>・全2回実施</li> </ul>			

## 特別研修（共同）

研修名	D X 推進研修 ～自治体D Xへの第一歩を学ぶ～	おすすめポイント		
		自治体D Xを進める上での注意点や課題と向き合い、先進事例を学びながら各団体で活かせるスキルを習得することができます。		
講師	武蔵大学 教授 しょうじ まさひこ 庄司 昌彦	期 間	1日間	
		会 場	各所属・団体で指定する場所	
		予 定 人 員	県40人・市町村40人	
ねらい	ライフスタイル・人口構造等の変化に柔軟に対応し、よりよい住民サービスを提供することを目的としたD X（デジタルトランスフォーメーション）推進のため、自治体に求められる対応や先進事例を学びます。			
対象者	次のいずれかに該当する職員 ・ D X 推進の職務に関係のある職員 ・ D X 推進に関心のある職員			
実施日	8月9日（火）			
手法	オンライン研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	D X（デジタルトランスフォーメーション）とは	6	20	・背景にある社会変化 ・D Xのポイント
	自治体D Xとは			・デジタル敗戦と過去20年の失敗 ・2040年問題と自治体の展望 ・先進国の事例
	自治体D Xを理解する			・自治体D X推進計画と推進手順書 ・法定D Xと自主的D X ・国内事例から学ぶ
	まとめ			・「誰ひとり取り残されない」とは ・自治体D Xの第一歩を考える ・まとめ
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.317）</li> <li>・ 事前課題があります。</li> </ul>			

## 特別研修（共同）

研修名	おすすめポイント			
	<b>イベント・セミナー等の オンライン活用研修</b> <b>～効果的な実践手法を学ぶ～</b>	集合を前提としていたイベント等の事業をDXにつなげるためには、単に代替手段としてオンライン化するだけではなく、事業の効果を高める活用方法の実践が求められます。 この研修では、そのために必要な考え方や多様なツールについての知識を深めるとともに、実際に事業に取り組んでいる担当者による事例の紹介や受講生の抱える疑問への回答により、実務のポイントを学びます。		
講師	PRDESIGN JAPAN（株） 佐久間 智之 ほか	期 間	1日間	
		会 場	各所属・各団体で指定する場所	
		予 定 人 員	県40人・市町村40人	
ねらい	オンラインツールを活用して、イベント・セミナー・研修会等の事業の効果を高める手法を学びます。			
対象者	イベント・セミナー・研修会の事業を担当する職員等、オンラインツールの活用に関心のある職員			
実施日	① 7月14日（木）午前（県20人・市町村20人） ② 7月14日（木）午後（県20人・市町村20人）			
手法	オンライン研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 12:00	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	事業のオンライン化からDX実現に発展させる視点	2	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンライン化とDXの違い</li> <li>・ DXに必要な視点</li> </ul>
または 13:30 ～ 16:30	オンラインツールの特性・選定のポイント			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Zoom、YouTube等のツールの強み、弱み</li> <li>・ 事業の目的に応じたツールの選定や活用のポイント、留意点</li> </ul>
	準備・運営のポイント、コンテンツ作成の工夫			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備や当日運営に必要な作業や機材</li> <li>・ 効果的なコンテンツを作成するためのコツ</li> </ul>
	事例発表			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 越谷市市民活動支援センター（Zoomを活用した交流イベントでのデジタルデバイド対応策）</li> <li>・ 那覇市若狭公民館（Zoom、YouTube、Facebookを使った研修会やイベント）</li> </ul>
	パネルディスカッション			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例発表者のパネルディスカッション</li> </ul>
	事例発表者への質疑・意見交換			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例発表者への質疑・意見交換</li> </ul>
	まとめ			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとめ</li> </ul>
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.318～319）</li> <li>・ 全2回実施予定</li> <li>・ 事前アンケートがあります。</li> </ul>			

## 特別研修（市町村）

研修名	評価者研修	受講者の声		
		目標設定や面談時のポイントなど受講しなければ実践できなかった内容もあり、大変勉強になりました。評価に迷いそうな項目も、事例を挙げて分かりやすく説明してもらえたので、理解が深まりました。		
講師	一般社団法人 日本経営協会 鈴木 由朗	期 間	1 日間	
		会 場	各団体で指定する場所	
		予 定 人 員	市町村 110 人	
ねらい	人事評価の目的と意義を確認するとともに、人事評価の実施のポイントや職員の意欲を引き出すための目標設定及び面談の進め方を学び、公正に評価を行うことを目指します。			
対象者	人事評価を行う職員			
実施日	5月9日（月）午後			
手法	オンライン研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1 日 13:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	人事評価制度の基本と考え方	3	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事評価制度の一般的な位置づけ</li> <li>人事評価の基本原則／能力評価／業績評価</li> <li>人事評価をマネジメントに組み入れる</li> </ul>
	目標設定と達成度の評価			<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ目標を設定するのか、本来のねらいは</li> <li>目標表現の仕方（定量目標と定性目標）</li> <li>達成水準の書き方</li> <li>プロセス目標と結果目標</li> <li>目標達成度評価とその注意点</li> </ul>
	期首面談の効果的な進め方			<ul style="list-style-type: none"> <li>期首面談（目標設定面談）のねらい</li> <li>期首面談の進め方</li> <li>部下目標の問題点を指摘する（演習）</li> </ul>
	事実の把握と能力評価			<ul style="list-style-type: none"> <li>能力評価の3つの判断と記録の重要性（事実の把握・項目選択・段階選択）</li> <li>評価項目の選択の仕方</li> <li>評価項目の選択（演習）</li> </ul>
	期末における面談の仕方			<ul style="list-style-type: none"> <li>期末面談の目的</li> <li>期末面談の準備と進め方／留意点</li> <li>期末面談の事例から学ぶ（演習）</li> </ul>
	評価の納得性を高めるには			<ul style="list-style-type: none"> <li>評価の納得性を支えるものは</li> <li>公平・公正な評価をするためのポイント</li> </ul>
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	・市町村研修コード NO.320			

## 特別研修（市町村）

研修名	災害対応研修 ～災害対応サイクルで考える 避難所運営の実際～		受講者の声	
			講師自身の体験談を踏まえた説明はとても参考になりました。災害に対する基本的な知識や、初めて知ることも多く有意義な研修でした。	
講師	一般社団法人 防災教育普及協会 宮崎 賢哉	期 間	1日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	市町村60人	
ねらい	発災後に被災者に対して適切な対応ができるよう、災害に関する基礎的な知識と実践的なノウハウ・スキルを習得することで、市町村における災害対応力の向上を図ります。			
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて防災を担当する職員</li> <li>・災害時に避難所に配置され、その開設・運営にあたる予定のある職員</li> <li>・防災に関心のある職員</li> </ul>			
実施日	8月5日（金）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	講義・演習	6	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害と防災対策の基本</li> <li>・災害情報の収集、伝達</li> <li>・避難誘導と要配慮者支援</li> <li>・避難所の開設・運営、想定される課題</li> <li>・避難所運営ゲーム（HUG）の紹介と要点解説</li> </ul>
	避難所運営図上演習			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「避難誘導シミュレーション教材」を用いた初動対応図上演習</li> </ul>
	意見交換と情報共有			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で振り返り、各班で情報共有</li> <li>・全体共有</li> </ul>
	演習事後解説、まとめ			
	講義全体のまとめ			
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村研修コード NO.321</li> <li>・事前学習として、自団体における避難所運営ガイドライン等を一読したうえで研修に参加してください。</li> </ul>			

## 特別研修（市町村）

研修名	面接スキル向上	受講者の声		
		講師の熱意ある講義により、適切な人材を確保していくための面接の重要性と、面接官の責任を感じることができました。		
講師	一般社団法人 日本経営協会 猪狩 廣美	期 間	1日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	市町村32人	
ねらい	職員採用試験において、人物重視・面接重視の動きが広まり、次代の組織を担う人材を見極め、選定する面接担当者のスキルが求められています。そこで、心構えや面接試験の際の留意点、効果的な面接の技法や進め方などを学び面接担当者のスキルアップを図ることで、より良い人材の確保を目指します。			
対象者	採用面接を担当する予定のある職員、人事担当者			
実施日	5月31日（火）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	採用面接の目的	6	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方公務員法の定め</li> <li>試験の構成傾向と位置づけ</li> <li>面接の目的、役割</li> </ul>
	採用面接で見極めようとしていること			<ul style="list-style-type: none"> <li>新規採用職員として求める人材像</li> <li>ミニマム事項の見極め</li> <li>優れた能力、適性を見極め</li> </ul>
	評価の視点			<ul style="list-style-type: none"> <li>個別評価事項の例</li> <li>総合評価の進め方／相対評価の進め方</li> </ul>
	面接技法と留意点			<ul style="list-style-type: none"> <li>面接技法</li> <li>面接時の留意点</li> </ul>
	模擬面接			<ul style="list-style-type: none"> <li>模擬面接（グループ演習）</li> <li>振り返りと講評</li> </ul>
	まとめ			<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の振り返りとポイント確認</li> </ul>
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村研修コード NO.322</li> <li>事前アンケートを実施します。</li> </ul>			

## 特別研修（市町村）

研修名	契約事務研修	受講者の声		
		根拠法令に加え、実際の各自治体の事例や例規等を踏まえた内容のため、理解を深めることができました。非常に丁寧な解説は、契約事務経験がなくても理解できました。		
講師	(株)ぎょうせい むらかみ 村上 しゅうじ 耿二	期 間	2日間	
		会 場	各団体で指定する場所	
		予 定 人 員	市町村54人	
ねらい	契約事務に必要な基礎知識とともに、実務上問題となる点とその対策を学ぶことにより、専門的能力の向上を図ります。			
対象者	構成団体の長から推薦された職員			
実施日	7月25日（月）・26日（火）			
手法	オンライン研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	契約の意義・概念  契約締結の方法とその課題・問題点	6	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約の意義</li> <li>地方公共団体における契約</li> <li>地方公共団体の入札・契約制度</li> <li>4つの契約方法 一般競争入札、指名競争入札、随意契約、せり売り</li> <li>最低落札の原則と例外</li> <li>単価契約、長期継続契約、概算契約</li> <li>契約書作成</li> <li>リース契約・レンタル契約</li> <li>契約の変更・契約の終了と解除</li> </ul>
2日 9:00 ～ 16:30	契約の適正な履行確保  入札・契約制度の改善  行政事務の業務委託	6	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>監督及び検査の意義</li> <li>監督及び検査（検収）の方法</li> <li>契約保証金</li> <li>入札及び契約の適正化の取組</li> <li>入札・契約事務の改善</li> <li>公共サービス改革法による業務委託</li> <li>PFI法による業務委託</li> <li>指定管理者制度による業務委託</li> </ul>
	演習 講義の振り返り等	0	05	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例演習等</li> <li>質疑応答、アンケート記入等</li> </ul>
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村研修コード NO.323</li> <li>事前アンケートを実施します。</li> </ul>			

## 特別研修（市町村）

研修名	ストレスコントロール ～折れない心を育てる～	受講者の声		
		受講前は、自分に強みなんてあるのかと思っていましたが、受講する中で強みを見つけることができ、自分の新しい一面を認識できました。ポジティブを職場で活かし、業務の向上に結び付けたいです。		
講師	一般社団法人 日本経営協会 いしざき みみこ 石崎 美美子	期 間	1 日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	市町村 50 人	
ねらい	心が疲れ果てないように働くため、「レジリエンス（＝逆境力、しなやかで折れない心）」の育て方を学ぶことで、ストレスや感情をコントロールし、逆境や困難に直面した時にしなやかに乗り越えるスキルを習得します。			
対象者	ストレスコントロールに関心のある職員			
実施日	8月1日（月）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1 日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	メンタルヘルスの基礎知識	6	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場のメンタルヘルスの現況</li> <li>職場でのストレスモデル</li> <li>ストレスのメカニズムを知る</li> </ul>
	職場における“レジリエンス”			<ul style="list-style-type: none"> <li>注目を集める“レジリエンス”の考え方</li> <li>レジリエンスを高める7つのステップ</li> </ul>
	レジリエンス・トレーニング①			<ul style="list-style-type: none"> <li>楽観性を養うポジティブ感情のラベリング</li> <li>ポジティブ感情で高める傾聴トレーニング</li> </ul>
	レジリエンス・トレーニング②			<ul style="list-style-type: none"> <li>ネガティブ感情の反芻を防止する</li> <li>ネガティブ感情の根本に対処する</li> <li>自分の思い込みを知る</li> </ul>
	レジリエンス・トレーニング③			<ul style="list-style-type: none"> <li>逆境から学ぶレジリエンス・ストーリー作成</li> <li>自分の強みを知る</li> <li>楽観性を養う理想の自分・理想の未来</li> </ul>
	レジリエンスを高める職場づくり			<ul style="list-style-type: none"> <li>問題の種類と解決手法</li> <li>ポジティブなアプローチの効果</li> <li>ポジティブアプローチ体験</li> </ul>
	まとめ			<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の振り返り</li> <li>アクションプラン策定</li> </ul>
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	・市町村研修コード NO.324 ※参考：通信教育講座のその他分野に関連する講座があります。			